

第224回イタリア映画鑑賞会

入場無料

■日 時：2026年10月30日(金)18:00 開場/18:30 開演 (20:00 頃終演予定)
■会 場：あじびホール
(福岡市博多区下川端町 3-1 福岡アジア美術館 8 階/TEL 092-263-1100)

■入 場 料：入場無料/先着 100 名様

※事前申込は不要です。直接会場へお越しください。なお、定員(100名)になり次第、締め切らせていただきます。

※やむを得ず、急遽上映作品の変更や鑑賞会を中止にする場合がございます。

第 224 回上映作品

『プッチーニの愛人(PUCCINI E LA FANCIULLA)』

(2008 年 81 分 イタリア語/日本語字幕)

監督・原案・脚本・美術／ パオロ・ベンヴェヌーティ
共同監督・原案・脚本・音楽コーディネーター／ パオラ・バローニ
撮 影／ ジョヴァンニ・バッティスタ・マッラス 美 術／ アルド・プーティ
衣 装／ シモネッタ・レオンチーニ 音響デザイン／ ミルコ・メンカッチ
音 響／ アルベルト・アマート 製 作／ ジャンパオロ・スミラリヤ
編 集／ チューザル・アウグスト・メネゲッティ
出 演／ タニア・スクイッラーリオ、リッカルド・ジョシュア・モレッティ、
ジョヴァンナ・ダッディ、デボラ・マッティエロ、フェデリカ・ケッツィ

2008 年、プッチーニ生誕 150 周年記念作品です。

『トゥーランドット』『ラ・ボエーム』『トスカ』『蝶々夫人』などのオペラを生み出した作曲家ジャコモ・プッチーニの「ドリーア・マンフレディ事件」の悲劇の真相に迫るミステリードラマを監督・原案・脚本・美術をパオロ・ベンヴェヌーティ、共同監督・原案・脚本・音楽コーディネーターをパオラ・バローニが素晴らしい映像と音楽で観せてくれます。

プッチーニ役には、作曲家のリッカルド・ジョシュア・モレッティなので「西部の娘」をピアノで作曲する場面は当たり前のように曲を弾いています。

1909 年、イタリア・トスカーナ地方のトーレ・デル・ラーゴの別荘で、新たなオペラ『西部の娘』にジャコモ・プッチーニは取り組んでいたが、妻エルヴァーラの眼を盗んで浮気している。プッチーニの愛人と疑われたのはメイドのドリーア。なぜ彼女は疑われ、自殺までしたのか…。言葉のやりとりはほとんどなく、まるでサイレント映画のようだが、同時録音のいろいろな音やピアノの音は聞こえる。まるで絵画のような映像は、観る側にミステリーの答えを見つけさせているようだ…。お楽しみ下さい。

(解説 湯越 勘一)

《お問合せ先》 福岡日伊協会 事務局 渡・古賀・井口
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前 3-1-1 西日本シティビル内
TEL: 092-476-2153 / FAX: 092-476-2634
E-mail: aigfukuoka2@galaxy.ocn.ne.jp